

近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.9 (2018) の発行にあたって

近畿大学次世代基盤技術研究所

所長 栗田 耕一



近畿大学次世代基盤技術研究所は、産学官連携事業の強化と本学広島キャンパス内における研究の活性化を図るために、前身の工業技術研究所から、平成 21 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されたことを契機とし、平成 22 年 4 月に新たな組織として設立されました。

産学官連携事業につきましては、平成 14 年 10 月から工学部産学官連携推進協力会を発足させ、それ以後、広島キャンパスにおける産学官連携活動の中核をなす部署として運営し、東広島市内の産業界はもとより、広島県内を含む近隣公設機関、さらには瀬戸内圏の各企業の皆様からの温かいご支援を賜り、着実に発展してきました。

研究の活性化につきましては、関係者の皆様に第 9 巻の報告書をお届けさせて戴きますのでご覧下さい。平成 13 年から発刊しました工業技術研究所報告の 9 巻を合わせますと、18 冊目の報告書となります。本報告書は、昨年度まで本研究所に設置しておりました 7 つのセンターの研究活動報告の概要をはじめ、研究員を含む各教員からの研究成果報告やその再録論文、センター活動に関連した研究状況のレビューなどを収録しております。

近畿大学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神としております。そのため、次世代基盤技術研究所は学生や大学院生、卒業生を含む各種研究部門の研究者や技術者と工学部の教員が深く関わり、地域ニーズに対応した人材育成や研究を行う場を提供する機関としての責務を受け持っております。社会の役に立つ研究を実践することが「実学」であり、新しい発想を持つ技術者・研究者を育成することは地域社会への貢献することになり、「人格の陶冶」に繋がると考えております。

本報告書が最新の産学官連携による技術情報の提供に役立つ資料となり、地域産業界に携わられる方々と、近畿大学工学部・大学院システム工学研究科・次世代基盤技術研究所とがさらに連携強化されることを期待しております。

平成 30 年 7 月